

サロベツのガン・ハクチョウ類

ガン・ハクチョウ類は夏にロシアのシベリアなどで繁殖し冬に本州で越冬する渡り鳥です。その途中の春と秋の渡りの際にサロベツに立ち寄ります。

稚内市から天塩町までの南北50kmに点在する国立公園のサロベツ湿原、ラムサール条約やフライウェイパートナーシップに登録されたペンケ沼を始めとした湖沼群に滞在し渡っていく様子が見えます。滞在中には広大な牧草地を利用して

主なガン・ハクチョウ類



マガン 春に多い。5月連休には大沼に集まる
秋はオオヒシクイより遅れて渡ってくる



オオヒシクイ(亜種) マガンより大きい
秋に多く、マガンより早く渡ってくる

その他のガン



亜種ヒシクイ オオヒシクイより小さい。少数が主に秋に飛来



カリガネ マガンより小さい
マガンの群れに少数が混じる



コハクチョウ 春はオオハクチョウより遅れて渡ってくる 小川川や雪解けにより冠水した牧草地、大沼に滞在 秋は足早に渡る



オオクチョウ コハクチョウより大きい
春にコハクチョウより早く渡ってくる 小川川や雪解けにより冠水した牧草地、大沼に滞在



ハクガン 主に春のマガンの群れに少数が混じる
近年急増中



シジウカラガン 春と秋に数羽がマガンの群れに混じる

ねぐらでは鳥を驚かさないう、牧草地の観察の際には通行や農作業の妨げにならないように注意が必要。

ガン・ハクチョウ類のサロベツの主なねぐら

稚内大沼

ガン・ハクチョウ類は日中、牧草地で餌を採り休息しますが、夜は安全な沼で過ごします。



- ・ハクチョウ類の中継地
- ・観察施設から間地下に観察可能
- ・春 4月-5月上旬 秋 10月

オオハクチョウ 1000羽
コハクチョウ 5000羽
マガン 春 4000羽

兜沼



- ・兜沼キャンプ場内から観察
- ・営業期間夜間宿泊者以外侵入禁止
- ・春 4月下旬-5月上旬
- ・秋 9月-10月

マガン 13000羽(春)
オオヒシクイ 2000羽(秋)

ペンケ沼



- ・オオヒシクイ国内最大の中継地
- ・立入不可
- ・春 4月中旬-下旬
- ・秋 9月中旬-10月下旬

マガン 10000羽(春)
オオヒシクイ 5000羽(秋)

ふらおい 振老沼



- ・観察壁あり(近い)
- ・ガン・ハクチョウを驚かさないう注意
- ・春 3月下旬-4月中旬
- ・秋 9月下旬-10月下旬

マガン 3000羽(春)
オオヒシクイ 1000羽(秋)

泥炭採掘跡地

- ・人工水域 立入不可
- ・春 4月中旬-下旬
- ・秋 9月中旬-10月下旬



オオヒシクイ 3000羽(秋)
マガン 3000羽(秋)

その他生息場所



雪融け後の氾濫原

- ・春 4月上旬-中旬



牧草地

- ・春 4月-5月上旬
- ・秋 9月中旬-11月中旬



ペンケ沼 堆積物により中央の林が形成

ペンケ沼埋没の危機

1923年に接続された下エベコロベツ川から土砂が沼に堆積した結果、沼の面積は約100年で約半分以下になりました。2100年には消失が予測されます。

